

和歌山県教育功労者・優秀教職員知事感謝状受賞者

《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に携わり献身的活動を続け、その功績が特に顕著である学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に感謝状を贈呈する。

にし ばた まさ はる
面 畑 昌 治

和歌山市立浜宮小学校 学校医

《主な功績》 平成5年4月から現在に至るまで、学校医として長きにわたり、定期健康診断、学校保健会に従事し、児童の健康管理に尽力した。また、和歌山市医師会学校医部会の学童腎臓病検診委員を務め、学校医部会の運営に尽力するなど、学校保健活動の充実に貢献した功績は多大である。

まつ もと まさ やす
松 本 正 康

和歌山市立今福小学校 学校薬剤師

《主な功績》 昭和61年4月から現在に至るまで、学校薬剤師として長きにわたり、児童生徒並びに教職員の健康的で安全な学習環境作りに尽力し、学校環境衛生向上のため諸検査の実施、その結果に基づく指導・助言を行い、児童生徒の健康に対する意識向上に寄与した。また、感染症その他の疾患予防に向け、健康指導及び保健指導に従事した功績は多大である。

たき もと たく や
瀧 本 拓 哉

海南市立異小学校 他1園 学校医/園医

《主な功績》 平成13年4月から現在に至るまで、学校医及び園医として長きにわたり、園児及び児童の健康管理、健康の保持・増進のため、精力的に検診及び指導助言を行うなど、保健活動の充実に尽力した。また、海南医師会学校医部会副会長として、その職務に精励し、海南医師会の発展に貢献するとともに、海南市における学校保健活動にも積極的に従事するなど、地域全体の医療充実に尽力した功績は多大である。

いけ だ もも こ
池 田 桃 子

海南市立加茂川小学校 学校歯科医

《主な功績》 昭和57年4月から現在に至るまで、学校歯科医として長きにわたり、生徒の歯と口の健康管理のため、献身的、精力的に検診及び指導助言を行うなど、健康づくりの推進に寄与した。また、海南歯科医師会において、理事として海南歯科医師会の充実に尽力するとともに、海南市における学校保健活動にも積極的に従事するなど、こどもの歯と口の健康の保持増進等に貢献した功績は多大である。

にし じま まさ と
西 島 眞 人

有田市立初島小学校 学校歯科医

《主な功績》 昭和62年4月から現在に至るまで、学校歯科医として長きにわたり、高い専門性と熱意を持ち、学校保健の充実向上や児童生徒の口腔内の健康管理、指導に努めている。また、学校保健行政にも積極的に取り組み、健康教育の進展に大きく貢献するなど、その功績は多大である。

みなと ぐち ひろ ゆき
湊 口 博 之

新宮市立高田小学校 他1校2園 学校医/園医

《主な功績》 平成7年4月から現在に至るまで、学校医及び園医として長きにわたり、卓越した学識と高い教育的見識をもって、学校保健・健康教育の推進に尽力した。特に、こどもたちが「健やかに、伸びやかに、たくましく」成長するために、一人一人の児童生徒並びに職員それぞれに対応した保健管理と保健指導により、児童生徒はもとより、保護者や地域住民からの信頼も厚く、学校医として学校保健に尽力した功績は多大である。

やま もと さと こ
山 本 哲 子

新宮市立神倉小学校 学校薬剤師

《主な功績》 平成8年1月から現在に至るまで、学校薬剤師として長きにわたり、卓越した学識と高い教育的見識をもって、学校保健・健康教育の推進に尽力した。児童生徒はもとより、保護者や地域住民からの信頼も厚く、一人一人の児童生徒並びに職員それぞれに対応した指導、助言により、学校薬剤師として学校保健に尽力した功績は多大である。

こ　　とう　　ゆう　　へい
後　藤　融　平

広川町立広小学校　他 2 校　学校医

《主な功績》

平成 9 年 4 月から現在に至るまで、学校医として長きにわたり、就学時健診・定期健診はもとより、指導を精力的に行うなど、児童生徒の健康管理に尽力した。また、新型コロナウイルス感染症等の対応や対策について、献身的に相談に乗るなど、学校の関係者のみならず地域住民からの信望も厚く、保健衛生の向上に貢献した功績は多大である。

め　　ら　　たか　　し
米　良　孝　志

和歌山県立南紀高等学校　他 1 校　学校医

《主な功績》

平成 8 年 4 月から現在に至るまで、学校医として長きにわたり、専門的な知見を活用し、学校保健計画や学校安全計画の策定に携わり、各所属の管理職や養護教諭等を通して必要な指導や助言をするなど、健康づくりの推進に寄与した。また、平成 25 年 5 月から 2 年間、新宮市医師会学校保健担当理事に就き、学校医活動の充実に尽力するなど、学校保健に貢献した功績は多大である。

《社会教育部門》

長年にわたり、社会教育活動に携わり献身的活動を続け、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献した功績が特に顕著である方々に感謝状を贈呈する。

●個人の部

おお た は る み
多 田 留 美

海南市社会教育委員

《主な功績》 平成14年6月から現在に至るまで、海南市社会教育委員として長きにわたり常に地域住民の立場に立った相談・支援活動を展開するとともに、高齢者宅の見守り活動や小中学校の登下校時の声掛け、通学路のパトロールの実施などに積極的に取り組んでいる。また地区での行事や公民館活動に積極的に参加するとともに、広く地域の意見を集約、提起し海南市の社会教育行政に貢献した功績は多大である。

●団体の部

いと が とくしょうじ らいごうえしきほぞんかい
糸我得生寺の来迎会式保存会

会長：伊藤 誠悟 所在地：有田市

《主な功績》 「糸我得生寺の来迎会式」は、奈良時代に右大臣藤原豊成（ふじわらのとよなり）の娘、中将姫（ちゅうじょうひめ）が一時隠棲したと伝えられる得生寺において、中将姫の命日である5月14日に毎年営まれる。来迎会式は、阿弥陀如来と二十五菩薩に導かれて中将姫が極楽往生する様子を再現した「練り供養（ねりくよう）」と呼ばれる行事である。雅楽が演奏される中、中将姫を祀る開山堂（かいざんどう）から本堂に渡した朱塗りの回廊に地蔵菩薩が先導する極楽浄土の諸菩薩の一行が登場する。道中を浄める僧侶を先頭に少女たちが「中将姫和讃（わさん）」を唱えつつ渡ると、続いて御輿に乗る「阿弥陀像」の前後に様々な法具や楽器を持つ二十五菩薩が進む。糸我得生寺の来迎会式は、昭和43年に和歌山県指定無形民俗文化財に指定されている。保持団体である糸我得生寺の来迎会式保存会は、伝統芸能の保存・継承を長年にわたって地域を挙げて取り組み、活動歴は50年を超える。この会式では、二十五菩薩をはじめとした諸役が地元の小学生によって演じられている点が大きな特徴で、全国的にみても非常に珍しいものとなっている。このように、同保存会の活動を通じて、地域のこどもたちが伝統芸能に参加することにより、地域文化の担い手づくりや、郷土の歴史文化に触れる機会が保たれており、本県の伝統文化の向上と発展に多大な貢献をしている。

《教育行政部門》

長年にわたり、本県教育の向上に努め、地域と連携した教育の推進に貢献し、その功績が特に顕著である市町村の教育長及び教育委員の方々に感謝状を贈呈する。

かい ほり まさ み
海 堀 匡 美

九度山町教育委員会 委員

《主な功績》

平成21年10月から現在に至るまで、九度山町教育委員会委員として長きにわたり九度山町の教育の振興に尽力している。卓越した見識と保護者としての立場に立った観点からの意見や、いじめ問題に関する取組として、アンケート調査の継続的な実施の他、九度山町教育振興計画の策定に取り組むとともに、教育目標の実現に向けた施策を推進するなど、九度山町の教育振興に貢献した功績は多大である。

《優秀教職員》

長年にわたり、本県学校教育の振興に貢献し、その功績が特に顕著である教職員の方々に感謝状を贈呈する。

しま もと かず まさ
島 本 和 昌

和歌山市立広瀬小学校 校長

《主な功績》

総合的な学習の時間や社会科、生活科等の教科指導において、地域学習を核に問題解決学習、探究的な学習を展開し、児童の課題追究の仕方や、一人学習を効果的に集団学習へつなげる方法をテーマに授業実践を行った。平成31年度から校長を歴任し、令和6年度からは現職として、児童が夢中になれるものを見つけることができるように児童の活動をサポートする学校運営に尽力している。そのための的確な支援を積極的に教職員に行うなど、後進の育成にも寄与している。また、令和7年度は、和歌山県連合小学校長会会長を務め、県内の小学校教育の発展に貢献している。

おお にし ひで き
大 西 秀 樹

和歌山市立雑賀小学校 校長

《主な功績》

道徳教育の読み物資料の開発や総合的な学習の時間において、優れた指導力を発揮し、児童が主体的に課題解決に向けて話し合い、学び合い、互いに磨き合うことで達成感を味わえる学習の授業実践を行った。平成28年度から教頭、校長を歴任し、地域との連携を大切にした教育活動を推進した。令和6年度からは現職として、児童が自分の個性で輝ける学校を大切にし、教育目標が実現できる計画的な学級経営を目指し、教員とともに取り組んだ。また、校長として幅広い人脈を駆使し、教職員と外部人材をつなぐ役割を務め、教職員の指導力向上に貢献している。

和歌山県教育委員会功労賞受賞者

《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に積極的に取り組み、学校保健向上に尽力した学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に表彰状を授与する。

の むら やす はる
野 村 康 晴

和歌山市立中之島小学校 学校医

《主な功績》 平成10年4月から現在に至るまで、学校医として定期健康診断に従事し、学校保健会を通じ児童の健康管理に尽力した。また、平成20年4月からは和歌山市医師会理事、令和元年6月からは和歌山市医師会会長として学校医部会の指導に尽力するとともに、講演会等に積極的に参加するなど学校医として日々研鑽しており、和歌山市の学校保健活動の充実に尽力した功績は誠に顕著である。

こ にし よし ひこ
小 西 良 彦

和歌山市立雑賀崎幼稚園 園歯科医

《主な功績》 平成2年4月から現在に至るまで、園歯科医として園児の歯の健康指導に従事した。定期健康診断時には、やさしい声かけを心掛け、一人一人丁寧に診察し、園児達からの信頼も厚い。また、保護者からの歯に関するアンケートについても丁寧に対応するとともに、こども達の歯科衛生の向上に努め、和歌山市の学校保健活動の充実に尽力した功績は誠に顕著である。

やま だ こう じ
山 田 貢 司

海南市立亀川中学校 学校歯科医

《主な功績》 平成8年4月から現在に至るまで、学校歯科医として、献身的・精力的に生徒の健康管理、健康保持増進のための検診及び指導助言を積極的に行ってきた。これらの活動により、当該中学校では保健活動が充実し、学校と家庭、学校医（歯科）が一体となって生徒の健康づくりを推進する気運を高めた。また、平成20年4月からは和歌山県歯科医師会理事及び常務理事として、平成30年7月からは海南歯科医師会会長として、その職務に精励してきた。海南歯科医師会の充実発展はもちろん、海南市における学校保健活動にも積極的に関わり、生徒の健康保持、増進等に尽力した功績は誠に顕著である。

みや け まり こ
三 宅 真理子

海南市立大東小学校 学校医

《主な功績》 平成8年4月から現在に至るまで、学校医として、児童生徒の健康診断、健康管理等に尽力した。また、児童生徒の健康増進のため、必要な指導や助言を積極的に行うとともに、教職員に対しても健康管理の重要性を説くなど、学校保健及び学校安全に貢献した。その活動により、保健活動が充実し、学校、家庭、学校医が一体となって児童生徒の健康づくりを推進する気運を高めた功績は誠に顕著である。

わか ばやし さ と こ
若 林 早止子

有田市立初島小学校 学校薬剤師

《主な功績》 平成元年4月から現在に至るまで、学校薬剤師として学校の環境衛生検査等に従事した。学校保健の充実向上に熱意をもって取り組み、常に児童の健康管理に努めている。また、各種委員会や研修会にも積極的に参加し、学校への助言を行うなど、学校保健、健康教育の発展向上に貢献した功績は誠に顕著である。

なり かわ まさ し
成 川 雅 史

有田市立有和中学校 学校歯科医

《主な功績》 平成14年4月から現在に至るまで、学校歯科医として学校保健の充実向上に高い専門性と熱意をもって取り組み、常に生徒の口腔内の健康管理及び指導に努め、健康増進に尽力した。また、学校保健行政にも積極的に関与するなど、その進展に貢献した功績は誠に顕著である。

こし むら くに お
越 村 邦 夫

新宮市立城南中学校 学校医

《主な功績》 平成17年4月から現在に至るまで、学校医として卓越した学識と高い教育的見識をもって、学校保健、健康教育の推進に努めた。特にこども達が「健やかに、伸びやかに、たくましく」成長するために、一人一人の生徒並びに職員それぞれに対応した保健管理と保健指導に尽力した。その真摯な指導は、生徒、保護者や地域住民からも信頼が厚く、学校保健、健康教育に貢献した功績は誠に顕著である。

ひがし
東

ふゆ
冬

ひこ
彦

みなべ町立上南部小学校 他 1 校 1 園 学校医/園医

《主な功績》

平成 6 年 4 月から現在に至るまで、学校医及び園医として高い専門性を備え、児童生徒の定期健康診査や予防接種業務に従事するとともに、健康、安全管理の充実や保健衛生の向上に尽力した。また医師会の事業として、児童生徒の生活習慣病予防検診や、学校における喫煙防止対策事業にも積極的に従事するなど、学校保健や学校安全活動の充実、活性化に貢献した功績は誠に顕著である。

かつ
勝

だ
田

ひと
仁

やす
康

和歌山県立粉河高等学校 他 1 校 学校医

《主な功績》

平成 11 年 4 月から現在に至るまで、学校医として定期健康診断に従事するとともに、高い専門性と熱意をもって生徒の健康管理や保健衛生の向上に尽力した。また、生徒の健康増進のため、学校と連携し必要な指導及び助言を積極的に行うなど、学校保健及び学校安全の発展に貢献した功績は誠に顕著である。

《社会教育部門》

社会教育活動を継続して行い、青少年の健全育成や文化の向上に貢献した方々に表彰状を授与する。

●個人の部

はた
秦

あき
昭

ひさ
長

和歌山市三田地区公民館 館長

《主な功績》

平成17年4月から現在に至るまで、長きにわたり和歌山市三田地区公民館長として地域の社会教育の振興と発展に尽力するとともに、その豊かな経験を生かし和歌山市公民館連絡協議会理事として、市全体の公民館活動の推進に大きく寄与した。また、各種会議や事業において常に的確な助言と卓越したリーダーシップを発揮し、地域に関する深い知識と積極的な姿勢をもって地域を牽引し、三田地区公民館の発展に尽力した。さらに、小学校と連携した事業や幅広い世代の住民を対象とする学習講座を開催し、多様な学習意欲や趣味活動の要望に応えるとともに、地域の学びの場を提供してきた。公民館関係者のみならず地域住民からの信頼も厚く、社会教育への貢献は誠に顕著である。

やす
保

だ
田

よし
良

み
美

美浜町社会教育委員

《主な功績》

平成12年4月から現在に至るまで、長きにわたり美浜町社会教育委員として人権教育やこどもの育成活動など、幅広い分野で地域の中心人物として活躍している。読書推進、資源の有効活用を目的としたリユース図書のボランティア活動など、社会教育の推進及び青少年教育に貢献した。また平成18年4月から少年補導委員として、地域のこどもの見守り、人形劇を通して幼児の健全育成、地域と学校及びこども園の連携支援活動に貢献し、地域に根ざした青少年健全育成の活動に尽力した。これらの取組により、美浜町の社会教育に尽力した功績は誠に顕著である。

さか
坂

た
田

えつ
悦

こ
子

元 由良町社会教育委員

由良町共育コミュニティ推進本部委員

《主な功績》

平成22年4月から長きにわたり、由良町社会教育委員として幅広い分野で地域の発展に尽力した。教員の経験を生かし、地域の社会教育の企画立案や助言を積極的に行うとともに、地域共育コーディネーターとして地域のボランティア活動や学校支援活動に精力的に取り組み、学校と地域の連携を推進した。また、地域住民の生きがいづくり、仲間づくりの場として高齢者ふれあいいきいきサロンの運営をはじめ、家庭教育支援チームの結成に大きく寄与した。強い使命感と情熱を持ち、社会教育や地域福祉の向上に尽力した功績は誠に顕著である。

《教育行政部門》

本県教育の向上に努め、地域と連携した教育の推進に貢献した市町村の教育長及び教育委員の方々に表彰状を授与する。

き し やす ひろ
貴 志 康 弘

前紀の川市教育委員会 教育長

《主な功績》

平成28年4月に就任以来、全ての小学校に元中学校英語教師を外国語指導員として配置し英語教育を推進した。また学校司書を管内の全校に配置し、蔵書整理及び充実を図るとともに、学校図書館の機能と役割を果たせるよう働きかけた。各学校の自主的な発想を引き出し、各校、地域の特色あふれる「ふるさと教育」を行うなど、9年間に様々な施策を展開した。さらに和歌山県市町村教育委員会連絡協議会及び近畿市町村教育委員会連絡協議会の会長、全国市町村教育委員会連合会の副会長を務めるなど、広く教育行政の発展に寄与した功績は誠に顕著である。

ひがし なか ひろ よし
東 中 啓 吉

前紀美野町教育委員会 教育長

《主な功績》

平成31年4月に就任以来、小、中学校のICT環境を整備し、情報活用能力の育成に努めるとともに、中学校のクラブ活動の地域展開の推進にも取り組んだ。また、学校の適正規模、適正配置化に取り組み、町内2つの中学校を統合し、紀美野中学校を開校させるとともに、学校給食の無償化や新たな学校給食センターの整備を行うなど、子育て世帯への支援並びに児童生徒への安心安全な給食の提供に尽力した。歴史、文化の活用においては県指定文化財ブドウハゼの原木などの天然記念物の周辺整備や、星の動物園みさと天文台の大規模改修、スポーツ公園のリニューアル事業など、生涯スポーツや文化の振興にも尽力した。広く教育行政の発展に寄与した功績は誠に顕著である。

つじ
辻

まさ
正

お
雄

前九度山町教育委員会 教育長

《主な功績》

平成28年4月に就任以来、卓越した指導力を発揮した。

学校教育では、国の児童生徒1人1台端末のGIGAスクール構想に基づき、情報機器を活用した学習環境づくりに努めた。また学校施設の冷暖房整備やトイレ改修等の教育環境整備を計画的に推進するとともに、不登校児童生徒の居場所となる学校づくりを推進し、児童生徒の積極的な受入れに取り組んだ。

社会教育では、紀の国わかやま国体を契機に、真田幸村ゆかりの地をなぎなたの聖地として継承するため「幸村杯なぎなた大会」の開催をはじめ、廃校となった久保小学校を活用した「くどやま森の童話館」の開館、世界遺産登録20周年記念として各種文化イベントを開催するなど、スポーツ及び文化の推進に力を注いだ。九度山町の教育の充実、発展に貢献した功績は誠に顕著である。

はぶかわ
土生川

しょう
正

けん
賢

元高野町教育委員会 委員

《主な功績》

平成25年12月に就任以来、地域の声に耳を傾け、教育委員会の施策に的確に反映することで、町民の教育への理解と信頼の向上に貢献した。常に冷静沈着で的確な判断を示し、温厚な人柄で委員間の信頼関係を築き、教育委員会の円滑な運営に寄与した。学校施設の老朽化への対応では、「高野町学びの交流拠点整備事業」構想の推進に積極的に関わり、こども園、小、中学校、公民館の文教施設を集約・再編し、世代を超えた学びと交流の拠点づくりに尽力した。また、不登校の児童生徒にも常に心を配り、一人一人に寄り添う支援のあり方を真摯に考え続けてきた。令和3年からは教育長職務代理者として、教育委員会全体を俯瞰する立場でも活躍した功績は誠に顕著である。

いの
井

うえ
上

えい
栄

じ
次

湯浅町教育委員会 委員

《主な功績》

平成20年11月に就任以来、小、中学校の建替えや、ICT教育を推進するためのタブレット端末導入など湯浅町の教育環境の整備に向けての助言を行った。また子育て支援の一環として給食費の無償化事業、その他学校現場の教職員の働き方についても、改善に向け適切な助言や指導を行った。学校教育以外の生涯学習や文化振興など社会教育においても、地域におけるこどもたちの社会教育活動に積極的に参加し、ひとづくり、地域づくり、つながりづくりに貢献した。地方教育行政の振興に尽力し、湯浅町の教育の進展に寄与した功績は誠に顕著である。

たけ い
竹 井

たけし
猛 湯浅町教育委員会 委員

《主な功績》

平成20年11月に就任以来、湯浅町の教育目標の実現に向け、積極的に学校訪問を行い、その推進に尽力した。小、中学校の建替えや、ICT教育を推進するためのタブレット端末導入など湯浅町の教育環境の整備や、子育て支援の一環としての給食費の無償化事業、その他学校現場の教職員の働き方についても、改善に向け適切な助言や指導を行った。令和6年度より湯浅町青少年育成町民会議の会長を努め、地域のこどもたちの健全育成に精力的に取り組むとともに、有田地区地域安全協議会湯浅支部の会員として、こどものみならず、地域の防犯活動にも積極的に参加している。地方教育行政の振興に尽力し、湯浅町の教育の進展に寄与した功績は誠に顕著である。

やま した ひで ゆき
山 下 秀 幸

印南町教育委員会 委員

《主な功績》

平成26年7月に就任以来、行政で勤務していた様々な経験を生かし、いなみこども園に関わる事業や、学校の適正規模等について適切な助言をするなど教育環境の整備に大きく貢献した。また、年に18回実施する園、学校訪問において、印南町の園児や児童生徒、教職員の様子を把握し、行政の立場から意見を行うなど、印南町の教育の振興に尽力した功績は誠に顕著である。

きのくに教育賞受賞者

本県学校教育において、特に優れた教育実践を行い成果を上げていると認められる教職員の方々に表彰状を授与する。

《小学校の部》

はざま
裕

ふみ
文

よ
代

田辺市立田辺東部小学校 教諭

《主な功績》

国語科や生活科の指導において、児童がノートや観察カード等の文章を作成する際には、指導と評価の一体化をめざし、評価基準をまとめたルーブリックを事前に示す工夫をしている。その工夫により、児童一人一人が書く活動のねらいに迫ることができ、児童の書く力の定着に寄与している。

研究主任として研究授業を率先して行い、国語科において、児童の読む力の向上のために、説明的な文章における用語や文章の構成などについて示した指導系統表を作成し、全教員が系統的に指導できるよう提案している。また、児童が活用できる文学的な文章における用語・読みの力一覧表も作成するなど、研究を推進している。

文部科学省の「令和5年度リーディングDXスクール事業」において、授業者として1人1台端末を有効に活用し、カードに書かれた学習計画を児童に選択させるという自己決定の機会を重視した授業提案を行い、他の教員の授業力向上に寄与している。

児童の教育的ニーズを丁寧に把握し、積極的に授業改善を進めることで、児童の学習意欲を引き出している。また、児童の基本的な生活習慣の形成にも注力しており、児童や保護者からの信頼も厚い。

なか むら ゆ き こ
中 村 有希子

岩出市立岩出小学校 教諭

《主な功績》

算数科や生活科において、単元導入で児童の興味・関心に基づく日常生活に根差した課題や教科等横断的な課題を設定することで、児童の学習意欲を高める授業づくりに取り組んでいる。また、公開授業や研究授業を率先して行い、他の教員の指導力向上に寄与している。

学級経営において、児童一人一人を大切にしながら、学級集団としての力を高める取組を実践している。話し合い活動を学級づくりの柱として、児童主体の学級活動の充実を図り、児童の自己肯定感を高められるように取り組んでいる。

令和2年度から研究主任を務め、令和3年度には、児童を対象に学校独自で行った「学習と生活に関するアンケート調査」の結果を基に、これまで国語科の授業で児童が身に付けた学力を算数科へ広げる必要性を提案し、研究主題の転換に取り組んだ。その際、各教員の意見を汲み取り、教員が一丸となって新しい研究に取り組むことができるよう研究体制を構築した。

学年主任や研究主任として学年や学校を牽引しており、授業づくりや学級づくりに熱心に取り組む姿は教員の模範となっている。また、若手教員の悩みについて相談に応じる姿から管理職の信頼も厚く、学校運営の中核を担っている。

まつ もと かず み
松 本 和 美

かつらぎ町立笠田小学校 教諭

《主な功績》

児童一人一人の特性と教育的ニーズを把握し、適切に支援するために、感情イラストやリーディングスリット等の教材・教具を工夫するなど、児童が安心できる授業や学級づくりを行っている。特別支援教育の専門的な知見に基づく実践は、所属校の特別支援教育の充実に貢献している。また、常に児童に寄り添い成長を温かく見守る姿勢は、保護者からの信頼を得るとともに、若手教員の模範となっている。

教育相談コーディネーターとして、ケース会議を計画的に開催し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、特別支援教育コーディネーターとも連携しながら、組織的な取組を行っている。今年度は、教務主任として、学校全体を俯瞰するとともに、各業務における教員の協力体制を作るなど、円滑な学校運営に寄与している。

特別支援学校在籍時に、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所が主催する「平成26年度特別支援教育専門研修」を受講し、専門的知識を深めるとともに、指導力向上に努めた。

県の教育相談等早期支援に係る巡回相談員として、対象となる児童や学校の状況を観察し、今後の取組や効果的な指導方法等について、指導・助言を行っている。

《中学校の部》

たけ もと なお き
竹 本 直 樹

和歌山市立西和中学校 教諭

《主な功績》

生徒が主体的に学ぶことを大切にしながら、生徒一人一人の学びが深まるように丁寧な学習指導を行っている。その方法として、ICT 機器の活用やグループ学習を取り入れた授業を行うことで、生徒が能動的に学習に取り組む姿勢を引き出す指導の実践に力を入れている。

令和5年度「学力向上コアティーチャー養成・活用事業」に参加し、秋田県での実地研修を通して、学習指導について学んだ。研修後は、校内で実践報告を行い、全教職員で共有するとともに、和歌山市教育委員会の初任者研修において授業改善に係る講師を務め、当該地方の教員の指導力向上に貢献した。

学校全体で取り組む活動として、「学年生徒会」を計画し実施するなど、優れた提案力と実行力を発揮している。学校の状況を見極め、生徒の成長を支援するために、常に学びを実践につなげる姿勢で、生徒主体の学校生活の実現に向けた取組を推進している。

学年主任として学年全体の課題を的確に把握し、管理職や他の教職員と密に連携を行い、円滑な学校運営に寄与している。また、若手教員へのきめ細やかな指導と生徒に公平かつ親身に接する姿勢から、教職員や生徒からの信頼も厚い。

なか もと あき こ
中 本 晃 子

日高川町立中津中学校 教諭

《主な功績》

令和4年度文部科学省委託「読書活動推進事業」では、研究主任として、研究推進の中核となり、教職員も活用できる学校図書館をめざし、学校図書の改善・充実に取り組んだ。また、この取組が生徒への読書活動推進に大いに貢献したと評価され、同校は、「令和6年度子供の読書活動優秀実践校」として、文部科学大臣表彰を受けた。

所属校では、学校司書及び町の書店と協力し、生徒向けの選書会と教員向けの選書会を同時開催した。また、各教科担当と連携して学校図書館図書の活用計画を作成し、目的を持って選書することで、学校図書館の蔵書の充実に寄与している。

学校独自の「学校図書館図書選定基準」及び「学校図書館図書廃棄基準」を作成し、学校図書館の活性化の推進に貢献するとともに、その取組を地域に広く普及させた。

本年度は教務主任として学校全体を俯瞰的にとらえ、各業務を的確に行うことで、円滑な学校運営の一部を担っており、その姿勢は他の教員の模範となっている。また、若手教員に対し自身の経験を生かした適切な助言を行うなど、若手教員の育成にも力を注いでいる。

《高等学校の部》

やま だ えり な
山 田 江理奈

和歌山県立箕島高等学校 教諭

《主な功績》

同校における探究学習の企画運営の中心として基盤づくりに尽力し教職員への理解促進に努めた。令和3年度には、総合的な探究の時間で取り組む「地球市民プロジェクト」を立ち上げ、様々な取組を展開している。

探究学習では、地域課題の解決など幅広いテーマに取り組み、企業や地域と連携した活動を展開している。これらの活動は、キャリア教育としての役割を担い、生徒に成功体験を積ませるとともに、自己肯定感を高め、生徒の進路実現につなげている。

同校は、令和6年度から文部科学省の事業「『総合的な探究の時間』の質向上を図るための実践研究事業」に採択されるなど県内外から高い評価を得ており、探究学習を通じた学校及び地域活性化に貢献した。

探究学習を発展し、生徒は様々なコンテストに挑戦している。「和歌山県ビジネスプランコンテスト」では最優秀賞、「SDGs 観光甲子園」2年連続ベスト5入賞、2025大阪・関西万博において探究学習の成果発表会へ参加するなど成果をあげている。

たに じ ゆう すけ
谷 地 祐 介

和歌山県立向陽高等学校 教諭

《主な功績》

平成18年度からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定されている同校において、課題研究に主体的に取り組む生徒の育成に尽力するとともに、令和5年度からはSSH推進部長として第Ⅳ期の取組を推進し、同校の研究の深化や成果普及に大きく貢献した。

同校の探究型授業で育成する力を「KOYOの力（気づく、起こす、読む、教え合う）」に整理することで、教員間での共通認識を深め、学校全体での授業改善の取組を推進した。

「向陽つながるサイエンス」の実践として、学校間、研究機関、企業や海外姉妹校との連携を強化することで、生徒の活動の幅を広げ、多様な人との交流を通じた科学技術系人材の育成を推進した。

県内外の教員を対象にした授業研究会やワークショップを開催して研鑽の機会を提供し、多くの教員の探究学習に対する意識や指導力の向上に寄与した。

おく だ けん た
奥 田 健 太

和歌山県立新翔高等学校 教諭

《主な功績》

長年教務部長として学校運営の中核を担っており、新宮高等学校との統合に向けたカリキュラムの編成などにも尽力している。

地元企業や多様な人材と連携しながら、座学だけでは決して学ぶことのできない、実学的な教育実践を重ねている。異世代交流を通じた教育活動は、生徒のコミュニケーション能力や社会性を大きく育み、生徒の主体性や自己肯定感を高める貴重な機会となるとともに、学校の魅力向上や地域社会の活性化に貢献している。

バドミントン部の顧問を務め、同校バドミントン部を近畿大会出場に毎年導いている。また、小中学生対象のバドミントン教室での指導や大会を主催するなど、地域のこどもたちの競技の普及にも尽力している。

自己研鑽に積極的に努め、独立行政法人教職員支援機構主催の令和3年度「中堅教員研修」、令和5、6年度「コア研修（2年コース）」を受講し、研修した成果を日々の教育活動の中で実践している。

《特別支援学校の部》

なか お ゆ き こ
中 尾 由 紀 子

和歌山県立和歌山ろう学校 教諭

《主な功績》

聴覚障害者の当事者であり、聴覚障害者のロールモデルとして、こどもや保護者、他の教員からの信頼も大変厚い。

和歌山ろう学校では、幼稚部・小学部・中学部での担任に加え、通級指導教室も担当する等幅広い経験を有しており、特に書記日本語指導の実践に優れ、非常に高い聴覚障害教育の専門性を有している。

聴覚障害児の自己理解と聴者との相互理解の重要性についての研究を行い、令和5年度第57回全日本聾教育研究大会で発表するとともに、雑誌「聴覚障害（2023年度 Vol. 78）」に「よりよい共生社会に向けて～自己理解、相互理解を深めるための教材作りから繋げる取組～」が掲載された。

障害のある者と障害のない者の「相互理解」とおして共生社会の実現に向けた学びを深める教材「和歌山ろう学校版～きこえにくい世界ときこえる世界の相互理解ハンドブック～」の作成に尽力し、実践につなげている。

きのくに教育の匠受賞者

きのくに教育賞受賞者のうち、特に継続的な実践で成果を上げ、かつ、他の教員の指導力向上に寄与した方に対して称号を与える。

《小学校の部》

てら
寺

だ
田

このみ
好

海南市立黒江小学校 教諭

《主な功績》

小学校英語専科指導教員としての高い専門性を生かし、児童が目的意識や相手意識を持って言語活動を行う場面を効果的に設定するなど、児童の学習意欲を引き出す単元構想や、どの児童も楽しみながら英語に親しむことができる教材開発や授業づくりを行っている。

日々熱意を持って自己研鑽に努め、児童や教員とのコミュニケーションを大切にしながら教育活動を広げていく実践力は、他の教員の模範であり、信頼も厚い。

令和3年度、県主催の小学校英語専科指導教員を活用した地方別外国語教育研修において、ICT機器を効果的に活用し、教科等横断的な視点を取り入れて、「和歌山県の食材を使った給食の献立」を児童が提案する授業を行った。また、その研究成果を普及することで、小学校外国語教育における教員の授業力向上に寄与した。

令和6年度、海南市立教育研究所研究員として、校区の中学校教員と連携し、中学生が英語で学校紹介している動画を児童に視聴させ、中学校での学習意欲を高めるなど、小中学校間の円滑な接続について研究を進めた。

他地方の小学校教員と連携し、互いの校区を紹介する音声データを使い、交流活動を実施するなど、本県の小学校外国語教育推進の中心的な役割を担っている。

《高等学校の部》

うえ むら
上 村

かつら
桂

和歌山県立熊野高等学校 教諭

《主な功績》

「Kumano サポーターズリーダー部」の顧問として、高齢者・学童・障害者との触れ合いを大切にしたサポート活動、防災の取組、世代間交流等の活動を、福祉、教育、介護、防災等を担う地域団体と連携しながら展開し、地域協働型サービスラーニングを通して、地域に貢献できる生徒の育成に尽力している。

平成27年度の上富田町と熊野高校による「まちづくり連携交流協定」締結には、同部の活動が大きく貢献した。地域イベント活動や、高齢者宅訪問、転倒予防教室・生きがい活動、学童保育、障害児保育の各ボランティア活動を、上富田町等と協働しながら継続的な活動に発展するようコーディネートしたことにより、地域課題の解決とともに、生徒の達成感や充実感の獲得につながっている。

女性に対する AED 使用率が低いことを受け、SDGs の「ジェンダー平等の実現」「つくる責任つかう責任」の目標達成と関連付けて、廃棄布を活用し、患者の姿が周囲に見えないように体を覆う「AED シート」の製作を指導した。このシートを地域の AED が設置されている多くの施設に寄贈する取組を行い、第1回 SDGsQuest みらい甲子園大日本住友製薬株式会社賞の受賞に貢献した。

和歌山県家庭科教育研究会で常任理事を歴任し、授業実践について県内外で研究発表を行うなど、家庭科教育の充実・発展に寄与している。

《特別支援学校の部》

う い えい じ
宇 井 栄 二

和歌山県立南紀はまゆう支援学校 教頭

《主な功績》

統合校となる南紀はまゆう支援学校の開校を見据え、高等部知的障害部門へのコース制の導入に向けて、体系的な枠組みや教育課程の編成に向けた校内議論を高等部主事として牽引し、その具現化に尽力した。

作業学習の改編に向けた検証作業に尽力し、食品加工や流通・サービス、ビルメンテナンスなど新たな作業種の導入や、教育課程上への1日作業の設定、前後期で連続する3日間の校内作業実習の導入を行うなど、統合校がめざすコンセプトの1つでもある職業教育の充実に寄与した。

管理職への昇任後は、知的障害教育と肢体不自由教育を行う知肢併置特別支援学校において、肢体不自由教育に関する知見も深め、学校における医療的ケア実施体制の推進に尽力した。また、知的障害教育の分野においても特別支援学校間での合同作業学習の実施や食品加工の開発、製品開発に向けて技術的助言が得られる近隣高等学校との連携体制の構築など、職業教育の充実をめざした環境づくりや人材の育成に尽力している。

和歌山県学校給食表彰受賞者

本県学校給食の普及と充実を図るため、学校給食の実施に関し、優秀な成果をあげた学校及び共同調理場、並びに特に功績のあった学校給食関係者及び団体に表彰状を授与する。

かま だ あつ こ
鎌 田 敦 子 和歌山市立楠見小学校 教頭

《主な功績》

平成9年4月から平成19年3月まで単独調理場を有する学校で経験を積み、平成19年4月からは本県教育委員会事務局職員として、県内各地の栄養教諭、学校栄養職員及び学校給食調理員に対し、専門的かつ丁寧な指導、助言を行い、学校給食の充実と食育の一層の推進を支えてきた。特に、和歌山県版「学校給食におけるアレルギー疾患対応指針」の作成や、「紀州っ子のこころとからだをつくる食育の手引」の改訂に中心的役割を果たし、児童生徒の安全確保と、発達段階に応じた食育の体系化に大きく寄与した。

これにより、栄養教諭の活動が大きく広がり、各校の食に関する指導の充実と児童生徒の健全な食生活の実現への取組につながっている。また、日常の衛生管理体制の強化にも力を注ぎ、現場の意識向上と事故防止に尽力した。

これらの豊富な実績と高い専門性が評価され、学校給食に関する全国大会において、文部科学省から指導助言者として指名されたことも、特筆すべき功績である。

現場経験と行政的視点の双方を生かし、長年にわたり本県の学校給食及び食育の発展に多大な貢献を果たしてきた。